

2013 年度春の三者総会 議案書

2013 年度三者事務局校・新潟大学

3月28日(木・学会3日目) 12:45～13:30
於・広島大学 東広島キャンパス RA会場

目次

1	2013 年度三者センター校 (東京大学) 予算案	[’13/3/14 現在]	2
1.1	収入予定 (概算)		2
1.2	支出予定：各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載		2
1.2.1	各三者役職校の支出予定項目		3
1.2.2	各パート役職校の支出予定項目		3
1.3	連絡		4
2	新たな財源としての協賛募集		5
2.1	目的		5
2.2	協賛募集の内容		5

1 2013年度三者センター校(東京大学) 予算案

['13/3/14 現在]

文責：石川和哉(東京大学)

1.1 収入予定(概算)

- (1) 前年度繰越金(2012年度決算終了時の繰越金額を記載) : ¥718,487
- (2) 参加費(参加者が250名の場合) : ¥4,000 × 250 = ¥1,000,000
- (3) 外部団体への援助・協賛申請(前年度と同様、内訳は下表) : ¥900,000

団体名	内容	今年度申請額
素粒子論グループ	旅費補助*	450,000
基研	講師等旅費, ポスター印刷費* ²	450,000* ¹
RCNP	協賛	0
原子核談話会	協賛, 原子核研究出版費*	0
高エネルギー研究者会議	協賛	0
申請額合計		900,000

* 秋季学会で援助申請を行った。承認して頂き援助をしてもらうことが決定した。

*¹ 50万円の申請を行った。基研への申請団体が多く基研の予算の1.8倍の応募があったため、我々への配分額は5万円の減額となった。

*² ポスター印刷費は、実際にかかった費用のみが支払われる。

収入合計 : (1) + (2) + (3) = ¥2,618,487

1.2 支出予定 : 各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載。

役職名	今年度予算案	前年度決算額* ¹
三者センター校	4,000	4,760
三者事務局	0	0
三者準備校	330,000	343,378
三者名簿校	0	0
素粒子論パート事務局	0	0
素粒子論パート準備校	8,000	9,585
原子核パートセンター校	0	0
原子核パート準備校	5,000	5,300
高エネルギーパート準備校	0	3,990
計	347,000	367,013

*¹ 前年度決算は2012年度三者センター校の決算報告に基づいている。

(注.) 他に『学生旅費補助』、『次年度繰越金』、『ポスター印刷費(上限10万円)』、『講師旅費』などがある。

1.2.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (東京大学)

申請項目	申請額
振込手数料	4,000
申請額合計	4,000

1. 旅費補助の振込み手数料：100 円 × 25 人 = 2500 円 (旅費補助 100 人で 25% の人が手数料ありと推定)
 2. 準備校への予算の振込み手数料：100 円 (振込額 10 万円程度を準備校へ一回)
 3. 宿泊費の振り込み手数料：840 円 (参加者の宿泊費など振込額数千万円を宿へ一回)
 4. 援助金の受け取り：200 円 × 2 回 = 400 円 (収入印紙)
- (2. に関して 1 万円以下の小額の役職校へは当日の手渡しを考えています。)

- 三者準備校 (大阪大学)

申請項目	申請額
施設使用料	250,000
コピー代	10,000
文具代	10,000
郵送費	20,000
下見交通費	40,000
申請額合計	330,000

施設使用料：会議室などの使用料

コピー代：紙の印刷費 (参加受付の際に配るものなど)

文具代：ストラップやホワイトボードマーカー代

郵送費：各研究室へのポスター 105 枚郵送費

封筒 1511 × 2 + 525 + 500 = 約 4100 円 http://www.office21.net/sys/syousai_226_and_3851.html

送料 140 × 105 = 14700 円 筒の重さが約 35g、A4 の紙を 1 枚つけてさらに約 5g だとしても、ポスターの重さが 60g までなら 100g 以内に収まると見積もった

会場下見代：会場に行ってお見送り、日帰り二人分

1.2.2 各パート役職校の支出予定項目

- 素粒子論パート準備校 (神戸大学)

申請項目	申請額
機材送料	4,500
消耗品代	3,500
申請額合計	8,000

機材送料：コードドラム送料 (夏の学校開催地 次期素粒子パート準備校) ¥1,500

ピンマイク往復送料 ¥3,000

消耗品：電池 (レーザーポインター用) ¥500

ホワイトボードマーカ・イレーザ ¥3,000

- 原子核パート準備校 (東京工業大学)

申請項目	申請額
文房具代	3,000
コピー代	2,000
申請額合計	5,000

文房具費：ポインター用電池、ポスター発表用画紙・セロテープなど 講義会、研究会の準備費
コピー費：講義ノートと研究会アブストラクト集の印刷

1.3 連絡

予算の受け渡し：予算が小額である役職校については夏の学校現地での直接予算の受け渡しをします。予算が高額である『三者準備校』については、予算を受け取るための口座を用意していただきます。

何か不明な点がありましたら三者センター校福居

E-mail : ffukui@hep-th.phys.s.u-tokyo.ac.jp

までお問い合わせください。また『三者準備校』には口座作成について追加で説明をいたしますので担当者の方は福居まで連絡くださるようお願いいたします。

領収書の提出：夏の学校の決算時には予算のすべての支出に対して領収書を提出して頂きます。領収書の但し書き・品名等はできるだけ具体的に書いて、予算の各項目との対応関係がはっきり分かるようにして下さい。領収書の宛名は「三者若手」です。また提出の様式については4月になったら改めてセンター校から指定しますので、すでに予算を執行している方は領収書をなくさないようにしてください。不明な点は同様に三者センター校の福居までお問い合わせ下さい。

2 新たな財源としての協賛募集

提案：東京大学
文責：三嶋剛（東京大学）

夏の学校の目的のひとつは全国の大学院生どうしの交流を深めることである。そのためには、より多くの学生の参加が重要であり、原子核素粒子三者若手夏の学校では経済的な理由によって参加を断念する学生を減らすために旅費補助を行ってきた。この旅費補助の財源の大部分は素粒子論グループと基礎物理学研究所による寄付金によって成り立っている。これらの寄付金のもとで原子核素粒子三者若手夏の学校は旅費補助を実施することが出来ており、多様な学生による議論の場としての役割を果たしていると言える。

しかしながら、素粒子論グループと基礎物理学研究所による寄付金は必ずしも安定した収入ではなく、それぞれの機関の予算の変動によって原子核素粒子三者若手への寄付金は変動する。実際に「1. 2013 年度予算案」の通り、2013 年度の収入予定では基礎物理学研究所からの寄付金が例年の 500,000 円から 450,000 円に減額している。原子核素粒子三者若手の収入が減少し続けると、今後の夏の学校において旅費補助額が減少し、旅費補助が不安定となる。十分な旅費補助が実施されるかどうか不安定な状況では、経済的な困難さが原因となって参加者が減少することが考えられる。昨年の原子核素粒子三者若手夏の学校では参加者 300 人以上と、学生どうしの交流の場としては成功していると言えることができ、今後も安定した旅費補助を維持することによって原子核素粒子三者若手夏の学校をさらに盛り上げていきたいと考えている。

以上の現状を踏まえて、原子核素粒子三者若手では、ホームページ上に広告を掲載することによる広告費収入の開始を提案する。この方法は物性夏の学校・天文夏の学校などで既に実施されている。

2.1 目的

本議案において新たな財源を得る目的は、夏の学校参加者の旅費補助を安定して実施することである。多様な学生の議論の場としての夏の学校を維持するためには旅費補助を安定に保つことが必要だと考えられるからである。収入規模としては「1. 2013 年度予算案」を参考にして、最終的には数十万円程度を達成することを想定している。本議案によって得られた新たな財源は夏の学校参加者の旅費補助と、本議案で提案する協賛募集の際にかかる費用に充てるものとする。

2.2 協賛募集の内容

本議案で提案する協賛募集はセンター校と事務局校が管理することとする。センター校が行う内容は以下である。

- 協賛による寄付額の決定・変更
- 協賛申込書などの作成・変更・管理
- 協賛者との連絡
- 銀行口座の管理
- 寄付金の管理

事務局校が行う内容は以下である。

- ホームページ上で協賛募集を宣伝するページの作成・管理
- ホームページ上での協賛者の広告の管理

協賛募集とは具体的には原子核素粒子三者若手のホームページと夏の学校のホームページに法人または個人の広告バナーを掲載し、広告料を収入とすることである。同時に夏の学校のポスターにも協賛者の名前を表示する。

以上を提案する。